

海外安全対策情報（2013年10月～12月：香港・マカオ）

平成26年2月19日現在

1 2013年10～12月の間に邦人が巻き込まれた犯罪

2013年10～12月の間の在香港日本国総領事館管轄域内における日本人の犯罪被害件数は、22件でした（当館把握分）。被害内容（例を以下に記載します。）は、スリ被害が最も多く、マカオ行きフェリーターミナルなどでカバンから旅券等の貴重品をすられたなどの被害が特に多く見受けられました。

例：フェリーターミナルの喫茶店で休憩中、カバンから貴重品をすられた。

マカオのカジノでそばに置いていたカバンから貴重品を持ち去られた。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

日本人の被害は報告されていません。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件の発生は報告されていません。

4 対日感情

一般的には良好であるものの、先の大戦に関連して我が国に対する要求を行う団体、尖閣諸島に関して中国の領有権を主張する団体等による抗議活動は依然として継続されており、引続き注意が必要です。

5 日本企業の安全に関する諸問題

特段の問題は報告されていません。

6 治安情勢

香港・マカオ、両地域の政府発表による犯罪発生件数を昨年と比較したところ、香港及びマカオともほぼ横ばいの傾向が続いており、治安情勢は比較的安定しているといえます。

（1）香港警察発表による2013年の犯罪発生件数

2013年の犯罪発生件数は、72,911件と昨年より3,019件少なくなっています。この中で、殺人事件の発生件数が昨年の2倍以上である62件となっているほか、強盗、詐欺事件なども増加しており、注意が必要です。

（2）マカオ政府発表による2013年の犯罪発生件数

2013年の犯罪発生件数は、10,272件と昨年より989件増加しています。この中で、詐欺事件が昨年の2倍近い665件発生しているほか、カジノにおける犯罪発生件数及び麻薬関連犯罪件数も増加しており、注意が必要です。